

令和 3 年版

消防年報



北茨城市消防本部



北茨城市民憲章

(昭和56年6月制定)

仰げば阿武隈の山なみに、望めば黒潮の躍動に教えられ鍛えられ、
先人の遺産を受けつぎ私たちは手をとり合って
平和で活力にみちたまちづくりのためこの憲章を定めます

- 1 からだをきたえ 健康で働き 豊かなまちをつくりましょう
- 1 自然を愛し 明るく美しいまちをつくりましょう
- 1 思いやりと感謝の心で 住みよいまちをつくりましょう
- 1 教養を深め 文化の香り高いまちをつくりましょう
- 1 伝統をふまえ 未来にはばたく若い力が育つまちをつくりましょう

市の象徴



市の木
松



市の花
シャクナゲ



市の鳥
かもめ



市の魚
アンコウ

はじめに

この年報は、北茨城市消防の現勢及び令和3年中の消防業務に関する諸般の事項を収録し、消防事情を紹介するため編集しました。

統計は令和3年12月31日現在をもって作成したもので、これによらないものについては、それぞれ記載した年月日現在により作成しました。

北茨城市消防本部

署 訓

わたしたちは、署訓である 強・明・優 を挙げ消防精神に則り、各種災害の軽減を図り社会公共の福祉に寄与し、消防行政の実をあげると共に市勢躍進の一翼を担っているものである。

強 く

何事も勇気ある信念を持って対処する。

明るく

何事も規律正しく明朗闊達笑顔で取り組み
和協一致で対処する。

優しく

対人関係は何事も親切丁寧に接する。

目 次

〔総 説〕	
北茨城市の沿革	1
市勢（位置、人口の推移）	2
北茨城市消防の沿革	3
〔総 務〕	
消防の組織	9
事務分掌（消防本部）	10
事務分掌（消 防 署）	12
消防予算	14
消防本部庁舎概要	15
消防職員の配置状況、消防職員一人当りの人口・世帯数	16
消防職員の年齢調、勤続年数調	17
消防職員の教育実施状況	18
〔予 防〕	
火災発生状況一覧表	19
火災種別の出火原因 火災月別発生状況	20
過去 5 年間の火災発生状況	
防火管理者講習会修了者の状況、建築同意	21
防火対象物の現況	22
消防用設備等の届出状況	23
各種届出等の状況	24
防火指導	25
〔危険物〕	
類別・数量別危険物施設数	26
容量別屋外タンク貯蔵所数、危険物施設の立入検査	27
危険物の許認可・届出処理状況、完成検査前検査状況	28
町別危険物施設・事業所数	29
〔通 信〕	
1 1 9 番通報等受信内訳	30
無線設備	31
緊急通報システム受信状況	32

〔気 象〕

気象状況	33
月別気象注意報及び警報発令状況	34

〔救急・救助〕

北茨城市における救急出場件数の推移、過去 5 年間の出場件数・搬送人員状況	
救急隊配置状況	35
救急出場状況、事故種別出場状況	36
月別出動件数・搬送人員状況	37
時間別出場件数状況、曜日別出動件数、年齢別・傷病程度別搬送状況	38
町別人口及び出場比率、医療機関別搬送人員	39
心肺蘇生処置実施状況、救命救急士稼働状況、普通救命講習対象者別実施状況、.....	40
市民による応急手当実施状況	
救助出場・活動件数・救助人員、救助出場状況	41

〔警 防〕

車両現況	43
消防器具等の現有状況	44
地域別消防水利施設設置状況	45
消防機関の出場状況	46

〔消防団〕

消防団の主な行事	47
消防団の組織	48
消防団の定実員、職務報酬、入団・退団	49
消防団員の年齢調・勤続年数調	50
消防車両の配置・性能等	51
小型動力ポンプ付積載車の配置・性能等	52
小型動力ポンプの配置・性能等	53
北茨城市消防本部・署並びに分団機械配置図	54

〔協力団体関係〕

民間防火協力団体	55
消防相互応援協定	56

総説

北茨城市の沿革

古代の当地方の人々は、採集、狩猟、漁労に都合のよい台地上に居住していたことが市内から出土する遺物によって知ることができる。

平安時代中期、武士が勃興すると当地方は佐竹氏の支配下におかれた。室町時代中期以降も佐竹氏あるいは、隣接する岩城氏の支配下におかれたが、江戸時代に入ると当地方は水戸藩領、棚倉藩領、天領、旗本領とが入り組み、明治維新まで続いた。

この間、封建時代の経済基盤である農業については、松井村（中郷町）の沼田主計らが、かんがい用水路の工事を行い新田開発等の振興策が図られた。又、平潟港は寛永年間に仙台藩主の伊達氏が江戸へ年貢米運送の寄港地として港を整備した。その後 1670 年（寛文 10 年）に河村瑞軒が幕命により仙台－江戸間の東廻り航路の刷新を行うとその寄港地に指定されて平潟港は大いに発展した。

1851 年（嘉永 4 年）、上小津田村（華川町）の神永喜八が塩ノ平、芳ノ目などで露頭炭の採掘に着手した。これが常盤炭田開発の始まりとなり、当地方の発展に一大変革をもたらした。

1868 年（明治元年）、平潟に輪王寺宮（北白川宮）が旧幕府軍とともに上陸し会津に向かう。

その後、新政府軍が平潟に上陸し、平潟口総督府を設置する。

明治期に入り磯原地区は、石炭産業を中心に商業が繁栄し、当地方の中核として発展を続け、中郷、関本、華川地区は農業と恵まれた資源を利用した林業や炭鉱を中心として発展してきた。また、関南地区は陸前浜街道の宿場町と農業を主に発展し、大津地区は古くから漁業を基盤に水産業、水産加工業、商業の町として栄え、平潟地区は物資の積出し、廻船の寄港地として大いに隆盛をみた。

1888 年（明治 21 年）、町村制の公布により 35 ヶ所がそれぞれまとまって南中郷村、北中郷村、華川村、関南村、関本村、大津町、平潟町の 2 町 5 カ村となり近代自治制度の基盤が確立された。1925 年（大正 14 年）になると北中郷村が町制をしき、磯原町と改称した。

さらに、1953 年（昭和 28 年）町村合併促進法が公布されると、産業、地形、習慣、文化、経済など多くの特性を持っている町村内で地域相互が連携し一つの生活圈・経済圏を形成して総合的な開発、発展する都市づくりを目指そうとする気運が高まった。1955 年（昭和 30 年）には磯原町と華川村が合併し磯原町となり、さらに翌 1956 年（昭和 31 年 3 月 31 日）には 6 カ町村が合併し、市制が施行され県下 15 番目の市として北茨城市が誕生した

市 勢

1. 位 置

市役所所在地

東 経 140° 45′ 16″

北 緯 36° 47′ 57″

消防本部所在地

東 経 140° 44′ 47″

北 緯 36° 47′ 04″



●位置と面積

本市は、茨城県の最北部にあり、首都東京からは、東北に180kmの地点で、東西およそ24km、南北22km、その総面積は186.79km²となっている。

また、市域の西に、阿武隈高地が南北に連なり、その支脈を水源とする、大北川、塩田川、里根川などの各河川が太平洋に注いでいる。これらの河川の地域には、豊かな平坦地がひらけている。

主要な交通機関として、鉄道にはJR常磐線の南中郷・磯原・大津港の三駅を有している。

道路には国道6号線及び高速自動車道である常磐高速道が南北に走っており、市の中心部に北茨城インターチェンジを有している。

2. 人口の推移

(令和4年4月1日現在)

	人口 (人)	世帯数	男 (人)	女 (人)	1 km ² 当りの人口
平成30年	42,778	16,829	21,160	21,628	229
平成31年	42,266	16,875	20,992	21,274	226
令和2年	41,870	16,969	20,788	21,082	224
令和3年	41,388	16,990	20,545	20,843	221
令和4年	40,689	16,940	20,263	20,426	218

北茨城市消防の沿革

昭和 31 年	3 月 31 日	磯原町・大津町・南中郷村・関南村・関本町・平潟町の 6 町村の合併による北茨城市が誕生した。 北茨城市連合消防団 6 支団 42 分団 1,334 名をもって組織される。 初代消防団長に 杉本 次平 就任
昭和 33 年	2 月 4 日	消防団相互応援協定を高萩市と締結する。
昭和 36 年	1 月 15 日 6 月 22 日	消防団の機構改革が行われ支団制を廃止、19 分団 827 名となる。 消防団長に 杉本 次平 再任され副団長 6 名となる。 2 代消防団長に 鈴木 丙午 就任
昭和 40 年	6 月 21 日	3 代消防団長に 吉田 正吉 就任
昭和 41 年	4 月 20 日	消防団相互応援協定を勿来市と締結する。(昭和 61 年 4 月 1 日廃止)
昭和 42 年	8 月 5 日	消防団相互応援協定をいわき市勿来消防団と締結する。
昭和 43 年	4 月 1 日 6 月 1 日 6 月 27 日 8 月 1 日 8 月 6 日 9 月 1 日 9 月 24 日 12 月 16 日	北茨城市消防本部が設置される。 初代消防長事務取扱に北茨城市長 豊田 実 就任 消防職員 18 名採用 2 代消防長に 赤津 佐光 就任 初代消防署長に 赤津 佐光 就任 消防本部へ広報車 (1968 年トヨタ RS56) を配置する。 消防本部及び消防署が開庁する (市役所庁舎内) 救急業務開始 (広報車併用) 消防署に救急自動車 (トヨタ FS55V) を配置する。 消防署に水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ TXG10) を配置する。
昭和 44 年	4 月 1 日 6 月 10 日 7 月 8 日 8 月 7 日	消防職員 12 名採用 4 代消防団長に 増田 松雄 就任 茨城県総合防災訓練実施 消防署に消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ55V) を配置する。
昭和 45 年	2 月 7 日 2 月 20 日 3 月 7 日 4 月 1 日 6 月 1 日 10 月 1 日	5 代消防団長に 今井 亨二 就任 消防団日本消防協会より表彰旗受賞する。 消防本部消防署 (現) 庁舎落成式 消防職員 4 名採用 消防職員 1 名採用 消防団員の縮小が施行される。545 名となる。
昭和 46 年	8 月 19 日 11 月 8 日 11 月 25 日	消防署に消防ポンプ自動車 (いすゞ TXG10) を配置する。 日本損害保険協会より火災保険号 (消防ポンプ自動車 ニッサン FH60) 寄贈される。 火災保険号の受納式実施 消防団 15 周年記念式典実施

昭和 47 年	4 月 1 日 6 月 29 日 7 月 5 日	消防職員 13 名採用 消防本部指令車（トヨタ MS60）を配置する。 消防本部に査察車（スバル K64）を配置する。
昭和 48 年	4 月 1 日 5 月 26 日 11 月 26 日	消防職員 4 名採用 消防本部の広報車（トヨタ MS60）を更新する。 北茨城市消防署出張所が開所する。 消防ポンプ車 1 台を配置する。
昭和 49 年	3 月 12 日 5 月 25 日 7 月 1 日 9 月 1 日	6 代消防団長に 根本 仁 就任 消防署の救急自動車（トヨタ RH-18V 型）を更新する。 消防職員 1 名採用 2 代消防署長に 大友 利夫 就任 3 代消防長事務取扱に北茨城市長 豊田 実 就任
昭和 50 年	2 月 27 日 4 月 18 日 6 月 9 日	関彰商事株式会社より救急自動車（日産 GC240）寄贈される。 4 代消防長事務取扱に北茨城市助役 松崎 元廣 就任 5 代消防長事務取扱に北茨城市長 柴田 章 就任
昭和 51 年	4 月 1 日	消防職員 7 名採用
昭和 52 年	4 月 1 日 12 月 27 日	消防職員 3 名採用 査察広報車（トヨタ H. KR10V）を更新する。
昭和 53 年	1 月 1 日 3 月 7 日 3 月 30 日 4 月 1 日 5 月 22 日 10 月 22 日	北茨城市消防署出張所 救急業務開始 消防庁長官より竿頭授を授与する。 7 代消防団長に 安島 健 就任 消防職員 8 名採用 連絡車（トヨタ H. TE30V）北茨城市危険物安全協会より寄贈される。 自治消防 30 周年記念、消防署開設 10 周年記念式典実施
昭和 54 年	3 月 26 日 4 月 1 日 9 月 28 日	消防署に化学車（日野 KR325 型）を配置する。 消防職員 4 名採用 消防相互応援協定を埴町と締結する。
昭和 55 年	12 月 22 日	消防署出張所に消防ポンプ自動車（いすゞ SCR320）を配置する。
昭和 56 年	4 月 1 日 9 月 1 日	消防職員 2 名採用 広報車（北星号・日産 L. VHC122）北星会より寄贈される。
昭和 57 年	3 月 23 日 4 月 1 日 6 月 18 日	消防緊急通信指令装置 NEC（FD301E 型）稼働 6 代消防長に 大友 利夫 就任 指令車（トヨタ L-TX67）を更新する。

昭和 58 年	3 月 2 日 3 月 18 日 7 月 1 日 11 月 1 日	消防庁長官より表彰旗授与される。(消防本部及び消防団) 消防署に救急自動車(日産 L-FHGE23)を配置する。 出張所が北部分署に改名される。 3 代消防署長に 菊池 淳一 就任 救急自動車(トヨタ L-YH71VB) 日本自動車工業会より寄贈される。
昭和 59 年	3 月 6 日	消防署に消防ポンプ自動車(いすゞ K-SDR320FW)を配置する。
昭和 60 年	2 月 5 日 3 月 1 日 4 月 1 日	消防相互応援協定を高萩市・十王町消防事務組合と締結する。 茨城県防災行政無線電話稼働 消防職員 4 名採用
昭和 61 年	4 月 1 日 6 月 25 日	消防相互応援協定をいわき市消防本部及びいわき市消防団と締結する。 北部分署の査察広報車(トヨタ KA67V)を更新する。
昭和 62 年	2 月 1 日 4 月 1 日 12 月 19 日	7 代消防長事務取扱に北茨城市長 松崎 龍夫 就任 4 代消防署長に 新保 榮 就任 消防署に消防ポンプ自動車(三菱 P-NKR57E2.4WD)を配置する。
昭和 63 年	3 月 24 日 4 月 1 日 7 月 27 日	常磐自動車道日立～いわき中央間開通(全線開通) 8 代消防長に 菊池 淳一 就任 消防職員 6 名採用 消防署に日本損害保険協会より火災保険号(水槽車 日野 P-FD172BA) 寄贈される。
平成元年	2 月 16 日 4 月 1 日 7 月 1 日 7 月 14 日 9 月 25 日	北部分署に消防ポンプ自動車(いすゞ P-NKS58GN)を配置する。 消防職員 4 名採用 消防本部に危険物号(ニッサン E-B12) 危険物安全協会より寄贈される。 消防本部に指令車(トヨタ L-GS136V)を配置する。 消防本部庁舎増築工事完成
平成 2 年	4 月 1 日 7 月 31 日	消防職員 4 名採用 消防署に連絡車(いすゞ V-WFR62FV 改)を配置する。
平成 3 年	4 月 1 日 10 月 30 日 11 月 5 日	消防職員 1 名採用 5 代消防署長に 渡辺 博 就任 消防本部に査察車(三菱 V-U41V)を配置する。 消防本部に受変電設備設置
平成 4 年	1 月 20 日 4 月 1 日 11 月 5 日 11 月 30 日	消防署にはしご付消防自動車(いすゞ U-CVR70K) 24m 級を配置する。 消防職員 1 名採用 8 代消防団長に 松崎 誠次 就任 茨城県知事より優良消防機関表彰を授与される。(消防本部) 消防本部に先導車(トヨタ T-YX76V 改)を配置する。

平成5年	4月1日 11月5日 11月10日 11月26日	消防職員1名採用 消防本部に北星号（ホンダ E-07A）北星会より寄贈される。 消防署に救助工作車（いすゞ U-FRS32FBV）を配置する。 救急車に自動車電話・心電図伝送装置整備する。
平成6年	4月1日 7月22日 12月6日	9代消防長事務取扱に北茨城市長 豊田 稔 就任 6代消防署長に 新保 榮 就任 消防職員5名採用 消防本部に連絡車（ダイハツ E-G203S）を配置する。 消防本部に水防車（トヨタ U-BU67D）を配置する。
平成7年	2月28日 3月6日 4月1日 7月1日 12月1日	北部分署の救急自動車（トヨタ TS-R2H133S）を更新する。 10代消防長事務取扱に北茨城市助役 岡部 良一 就任 消防職員5名採用 11代消防長事務取扱に北茨城市長 村田 省吾 就任 消防相互応援協定をいわき市と締結する。
平成8年	3月12日 4月1日	消防署に高規格救急自動車（トヨタ GB-UZH138S）を配置する。 12代消防長に 渡辺 博 就任 消防職員3名採用
平成9年	4月1日 11月27日	13代消防長に 新保 榮 就任 7代消防署長に 篠原 勝海 就任 北部分署の査察広報車（ホンダ R-EY7）を更新する。
平成10年	3月6日 8月30日	消防本部に（財）日本消防協会より指揮広報車（ニッサン E-EU14）寄贈される。 平成10年度茨城県・北茨城市総合防災訓練 台風4号の接近による大雨及び茨城県災害対策本部設置に伴い中止となる。
平成11年	3月19日 10月25日	消防署の化学車（三菱 KC-FK623GY 改）を更新する。 消防本部に（財）日本宝くじ協会より防災教室車寄贈される。
平成12年	4月1日	14代消防長事務取扱に北茨城市長 村田 省吾 就任
平成13年	2月1日 4月1日	北部分署の高規格救急自動車（トヨタ GE-VCH38C）を更新する。 消防緊急通信指令装置、富士通ゼネラル（I型）稼働
平成14年	3月1日 4月1日	消防署に災害対応消防ポンプ自動車（CD-I型）を配置する。 15代消防長に 鈴木 義則 就任 8代消防署長に 仲田 寛之 就任 消防職員2名採用
平成15年	2月27日	北部分署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 I-B型（三菱 KK-FK61HGY）を配置する。
平成16年	2月13日 4月1日	消防署に広報車（トヨタ UA-ACR40W）を配置する。 消防職員3名採用
平成17年	2月2日 4月1日	消防署の高規格救急自動車（トヨタ UA-ACR40W）を更新する。 16代消防長に 根本 晴嘉 就任

平成 18 年	3 月 28 日 4 月 1 日	消防署に水槽付消防ポンプ自動車 I - B 型(日野 ADG - GD7JGWA 改)を配置する。 17 代消防長に 仲田 寛之 就任 9 代消防署長に 渡邊 義久 就任
平成 19 年	4 月 1 日	18 代消防長に 青木 久 就任 消防職員 3 名採用
平成 20 年	3 月 6 日 4 月 1 日 10 月 1 日	消防本部の先導車(ニッサン DBF - VY12)を更新する。 10 代消防署長に 芳賀 昭一 就任 9 代消防団長に 飛田 和義 就任 消防職員 2 名採用 事務職員 2 名市役所から消防本部に出向(職員 88 名) 消防団に本部分団(女性)が設置される。
平成 21 年	4 月 1 日 10 月 16 日	19 代消防長に 高星 輝明 就任 11 代消防署長に 沼田 順一 就任 消防署に災害対応特殊救急自動車(トヨタ CBF - TRH226S)を配置する。
平成 22 年	4 月 1 日 8 月 29 日	20 代消防長に 澤田 清 就任 12 代消防署長に 丹 一男 就任 消防職員 4 名採用(職員 83 名) 平成 22 年茨城県・北茨城市総合防災訓練
平成 23 年	3 月 11 日 4 月 1 日 10 月 19 日 11 月 9 日	東日本大震災(北茨城市 死者 5 名・行方不明者 1 名) 消防職員 4 名採用(職員 80 名) 第 20 回全国女性消防操法大会出場(横浜市) 「消防職団員への感謝の集い」(東日本大震災関係)において総務大臣表彰受賞(消防本部・消防団)
平成 24 年	4 月 1 日 9 月 10 日	13 代消防署長に 丸山 保彦 就任 消防職員 6 名採用(職員 81 名) 防災功労者内閣総理大臣表彰受賞(消防本部・消防団)
平成 25 年	4 月 1 日	14 代消防署長に 佐藤 仁一 就任 消防職員 4 名採用(職員 83 名) 消防署に CAFS 装置付消防ポンプ自動車 CD - I 型(日野 TKG - XZU685M)を配置する。
平成 26 年	4 月 1 日 12 月 11 日	消防職員 3 名採用(職員 82 名) 消防署に救助工作車(日野 SDJ - GX7JGAA 改)を更新する。
平成 27 年	4 月 1 日	21 代消防長に 石山 雄二 就任 消防職員 1 名採用(職員 81 名)

平成 28 年	1 月 8 日 2 月 18 日 2 月 20 日 2 月 23 日 4 月 1 日 10 月 13 日	消防署の高規格救急自動車（トヨタ CBF-TRH226S）を更新する。 消防署に指揮隊車（トヨタ LDF-KDH206K）を配置する。 北茨城市消防本部庁舎竣工式 北茨城市消防本部・消防署（北部分署と統合）が移転する。 通信指令業務を「いばらき消防指令センター」に移行する。 （同時にデジタル無線へ移行） 22 代消防長に 小山 茂 就任 10 代消防団長に 小野 國光 就任 消防職員 3 名採用（職員 80 名） ラピッドカーの運用が開始される。（日立市・高萩市・北茨城市） 消防署の高規格救急自動車（トヨタ CBF-TRH226S）を更新する。
平成 29 年	4 月 1 日	消防職員 4 名採用（職員 82 名）
平成 30 年	4 月 1 日	消防職員 5 名採用（職員 83 名） 23 代消防長に 滑川 昇 就任 15 代消防署長に 白井 康男 就任 消防本部に火災調査車（日産 LDF-VW6E26）を配置
平成 31 年 (令和元年)	4 月 1 日 9 月 26 日	消防職員 3 名採用（職員 83 名） 16 代消防署長に 尾形 利勝 就任 消防署に資機材搬送車（日野）配置
令和 2 年	4 月 1 日	消防職員 2 名採用（職員 80 名） 24 代消防長に 多田 幸市 就任
令和 3 年	3 月 4 日 4 月 1 日	消防署の高規格救急自動車（日産 CBF-CS8E26）を更新 消防職員 2 名採用（職員 78 名）
令和 4 年	4 月 1 日	消防職員 2 名採用（職員 79 名）

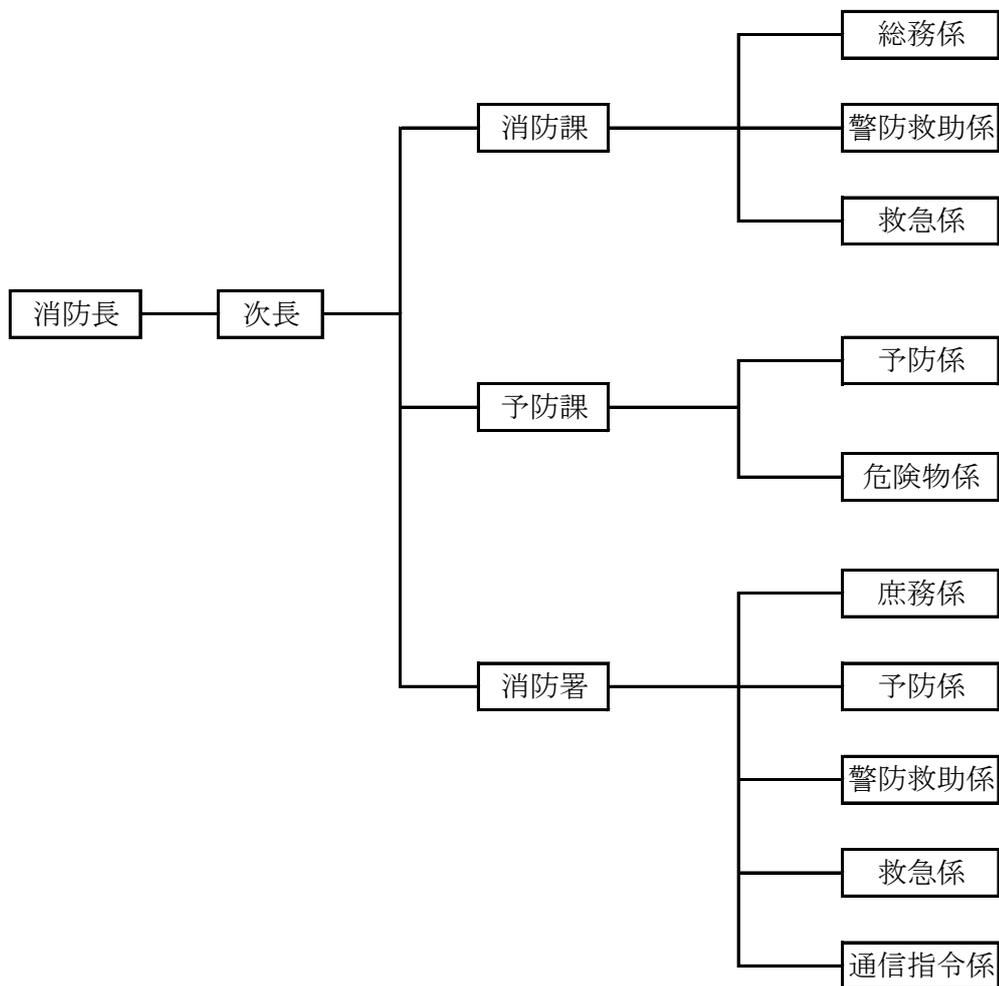
総務

消 防 の 組 織

令和4年4月1日現在

名 称	位 置	管轄区域
北茨城市消防本部	北茨城市磯原町磯原2496-1	北茨城市全域
北茨城市消防署	〃	〃

消防本部・署の機構



事 務 分 掌

〔消防本部〕

課	係	分 掌 事 務
消防課	総務係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 公印の保管に関する事。 (2) 消防関係条例、規則等に関する事。 (3) 人事及び組織に関する事。 (4) 予算の執行に関する事。 (5) 消防職員の給与及び福利厚生に関する事。 (6) 消防職員の人事（採用）に関する事。 (7) 文書の発送、收受及び保管に関する事。 (8) 消防統計に関する事。 (9) 消防関係表彰に関する事。 (10) 消防職員の公務災害補償に関する事。 (11) 消防協会に関する事。 (12) 物品の出納保管に関する事。 (13) 庁舎の維持管理に関する事。 (14) 消防職員の服務及び教養に関する事。 (15) 渉外に関する事。 (16) いばらき共同指令センターに関する事。 (17) その他他の係の主管に属さない事項に関する事。
	警防救助係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防車両の整備計画管理に関する事。 (2) 通信指令業務に関する事。 (3) 通信機器の運用及び維持管理に関する事。 (4) 災害に関する情報の収集に関する事。 (5) 県市防災行政無線の運用に関する事。 (6) 消防団に関する事。 (7) 消防計画に関する事。 (8) 消防相互応援に関する事。 (9) 消防水利に関する事。 (10) 消防訓練に関する事。 (11) 救助業務に関する事。 (12) その他警防及び救助業務に関する事。

課	係	分 掌 事 務
消防課	救急係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急業務の管理に関する事。 (2) 救急隊員の資格に関する事。 (3) 救急業務の予算計画に関する事。 (4) 救急業務高度化に関する事。 (5) 救急業務の活動計画に関する事。 (6) 救急業務統計に関する事。 (7) 医療機関との連絡調整に関する事。 (8) 救急資機材の整備及び維持管理に関する事。 (9) 救急隊員の教育研修及び訓練計画に関する事。 (10) 予防救急に関する事。
予防課	予防係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 火災予防の指導に関する事。 (2) 防火対象物の査察、指導及び違反処理に関する事。 (3) 建築物の同意事務に関する事。 (4) 火災原因及び損害の調査に関する事。 (5) 火災証明に関する事。 (6) 消防用設備に関する事。 (7) 防火委員会の事務に関する事。 (8) 防火管理に関する事。 (9) 火災及び防火対象物の統計に関する事。 (10) 予防関係各種届出の事務処理に関する事。 (11) その他予防事務に関する事。
	危険物係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 危険物製造所等の許可、認可及び検査に関する事。 (2) 危険物施設の査察及び違反処理に関する事。 (3) 危険物取扱者の保安講習に関する事。 (4) 危険物規制事務に基づく統計に関する事。 (5) 危険物施設の災害事故調査及び報告に関する事。 (6) 液化石油ガス施設の指導に関する事。 (7) 高圧ガス施設の指導に関する事。 (8) 少量危険物、準危険物等の届出処理に関する事。 (9) 核燃料物質等の貯蔵取扱い届出処理に関する事。 (10) 危険物安全協会の事務に関する事。

〔消防署〕

係	分 掌 事 務
庶務係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 公印の管理に関する事。 (2) 消防署の予算計画に関する事。 (3) 職員の配置及び勤務編成に関する事。 (4) 職員の教育訓練に関する事。 (5) 署内設備の維持管理に関する事。 (6) 文書の発送、收受及び管理に関する事。 (7) 消防統計に関する事。 (8) その他各係に属しない事項に関する事。
予防係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 火災調査に関する事。 (2) 火災予防思想の普及宣伝に関する事。 (3) 火災及び防火対象物の統計に関する事。 (4) 予防関係各種届出の事務処理に関する事。 (5) 予防査察に関する事。 (6) その他予防に関する事。
警防救助係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 水火災、地震等の警戒及び防御に関する事。 (2) 消防地水利調査に関する事。 (3) 消防機械器具の維持管理に関する事。 (4) 警防救助調査及び統計に関する事。 (5) その他災害調査に関する事。 (6) 救助活動に関する事。 (7) 消防訓練に関する事。 (8) その他警防救助に関する事。
救急係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急活動に関する事。 (2) 救急資機材の維持管理に関する事。 (3) 救急訓練等の計画実施に関する事。 (4) 救急医療機関との連絡調整に関する事。 (5) 救急統計に関する事。 (6) 救急調査に関する事。 (7) 予防救急及び応急手当の普及指導に関する事。 (8) その他救急に関する事。

係	分 掌 事 務
通信指令係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 通信指令業務に関すること。 (2) 消防通信の統制運用技術の研究及び訓練指導に関すること。 (3) 通信機器の維持管理に関すること。 (4) 警防情報及び災害即報に関すること。 (5) 気象情報の伝達及び解除に関すること。 (6) 縣市防災行政無線及び各種緊急システム等の運用に関すること。 (7) 消防緊急システム等の運用管理に関すること。 (8) 救急医療情報に関すること。 (9) その他通信指令に関すること

消 防 予 算

1. 市予算と消防予算の年度別比較

(単位:千円)

種別 年度別	市予算額	消防予算額	比率 %
平成30年度	18,500,000	898,359	4.9
平成31年度 (令和元年度)	20,030,000	878,800	4.4
令和2年度	26,260,000	905,016	3.4
令和3年度	17,690,000	827,661	4.7
令和4年度	18,040,000	792,068	4.4

2. 消防費内訳(令和3年度)

(単位:千円)

常 備 消 防 費	636,246
非 常 備 消 防 費	65,702
消 防 施 設 費	41,303
水 防 費	121
災 害 対 策 費 (市 総 務 課)	48,696
計	792,068

3. 人口及び世帯当りの消防費

(令和4年4月1日現在)

区分 年度別	消防予算	人口	世帯数	負担額	
				市民1人当り	1世帯当り
平成30年度	898,359 千円	42,778 人	16,829 世帯	21,000 円	53,381 円
平成31年度 (令和元年度)	878,733	42,266	16,875	20,790	52,073
令和2年度	905,016	41,870	16,969	21,614	53,333
令和3年度	827,661	41,189	16,959	20,094	48,803
令和4年度	792,068	40,689	16,940	19,466	46,757

消防本部庁舎概要



所在地 茨城県北茨城市磯原町磯原 2 4 9 6-1
竣 工 平成 2 8 年 2 月 2 3 日
敷地面積 13,143.82㎡ (うち屋外訓練場 4,000㎡)

棟別	構 造		建築面積	延べ面積
庁舎棟	鉄筋コンクリート造	地上 3 階	1,138.39㎡	2,852.12㎡
車庫棟	鉄骨造	地上 1 階	1,013.25㎡	961.60㎡
消防庁舎 (合計)			2,151.64㎡	3,813.72㎡
訓練棟	鉄筋コンクリート造	地上 5 階	77.00㎡	255.52㎡

消防職員の配置状況

(令和4年4月1日現在)

所属 階級	消防本部								消防署			計
	消 防 長	消 防 課	総 務 係	警 防 救 助 係	救 急 係	予 防 課	予 防 係	危 険 物 係	消 防 署	一 部	二 部	
消 防 司 令 長	1											1
消 防 司 令		1	2	2	1	1		1	1	6	6	21
消 防 司 令 補			2	1			1			6	6	16
消 防 士 長			1				1	1		4	4	11
消 防 副 士 長										6	7	13
消 防 士			2							8	7	17
計	1	1	7	3	1	1	2	2	1	30	30	79
	1	1	11			1	4		1	60		

消防職員 1 人当りの人口・世帯数

(令和4年4月1日現在)

区 分	人口・世帯数
消防職員 1 人に対する人口	5 1 5 人
消防職員 1 人に対する世帯数	2 1 4 世帯

消防職員の年齢調

(令和4年4月1日現在)

階級 年齢	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
20才未満						1	1
20才～24才						15	15
25才～29才					9	1	10
30才～34才				9	4		13
35才～39才			3				3
40才～44才			5				5
45才～49才		4	8				12
50才～54才		12					12
55才以上	1	5		2			8
計	1	21	16	11	13	17	79

消防職員の勤続年数調

(令和4年4月1日現在)

階級 年数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
5年未満					1	13	14
5年～ 9年				1	8	4	13
10年～14年			1	7	4		12
15年～19年			3	1			4
20年～24年			2				2
25年～29年		2	10				12
30年～34年		14					14
35年～39年		4					4
40年以上	1	1		2			4
計	1	21	16	11	13	17	79

消防職員の教育実施状況

区分		年度	S43年度～	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計		
			H25年度											
消防 大学 校	幹部科		3									3		
	上級幹部科		2									2		
	予防科		3							1	1	5		
	警防科		4					1				5		
	救急科		1									1		
	救助科		2	1								3		
茨城 県立 消防 学校	初任 教育	初任科	132	3	1	3	4	5	3	2	2	155		
		警防科	5		2	1	1	1	1	1	1	13		
	専科 教育	特殊災害科	2						2	2		2	8	
		予防査察科	9							1		1	11	
		危険物科							1		1		2	
		火災調査科	17		2	2	2	2	2	2	2	2	31	
		救急科	救急標準課程 (14名)	23	3	4	4	3	3	3	1	2		156
			救急Ⅱ課程 (96名)											
	救助科		35	1			1	1	1	1	1	1	42	
	幹部 教育	初級幹部科												
		中級幹部科												
		上級幹部科												
	特別 教育	新任消防長教育訓練												
薬剤投与講習会		3									3			
水難救助課程		11			1		1	1	1	1	16			
操法指導者研修会		24	2	2	2	2	2	2			36			
処置拡大追加講習				4	5							9		
救急 振興 財団	新規 養成	救急救命東京研修所	12	1		1	1	1	1	1	1	19		
		救急救命九州研修所	3									3		
	指導救急士養成				1	1		1	1			4		
	処置拡大追加講習				2							2		

予 防

火 災 統 計

1. 火災発生状況一覧表

No.	月日	曜日	出火時刻	場 所	種 別	焼損程度			焼損面積			損害額 (千円)	出火原因	り災程度			り死傷者	
						全	半	部	ぼ	床(m ²)	表(m ²)			(a)	全	半	小	死
1	1/9	土	10:40	関本町福田	林野						11		火入れ					
2	2/6	土	13:30	関本町富士ヶ丘	その他								その他 (火の不始末)					
3	2/13	土	12:15	華川町小豆畑	林野						28	305	たき火					
4	2/28	日	10:40	磯原町上相田	その他								火入れ					
5	2/28	日	12:45	中郷町日棚	その他								不明					
6	3/5	金	15:50	中郷町栗野	建物			1			12	123	焼却炉					
7	3/6	土	12:10	関本町富士ヶ丘	林野						23	6	不明					
8	4/17	土	11:17	関南町神岡上	建物			1		13		77	こんろ			1	5	
9	4/30	金	4:45	中郷町日棚	その他								その他 (自然発火)					
10	6/14	月	23:00	平潟町	その他								その他 (ごみ焼却)					
11	7/20	火	16:05	中郷町日棚	車両							21	その他 (高温物接触)					
12	9/26	日	15:40	磯原町磯原	その他							18	こんろ					
13	11/12	金	20:45	磯原町上相田	建物				1			1	たばこ			1	2	1
合 計								2	1	13	12	62	551			2	7	1

2. 火災種別の出火原因

区分	合計	たばこ	こんろ	かまど	風呂かまど	炉	焼却炉	ストーブ	こたつ	ボイラー	煙突・煙道	排気管	電気機器	電気装置	電灯・電話等の配線	内燃機関	配線器具	火遊び	マッチ・ライター	たき火	溶接機・切断機	灯火	衝突の火花	取灰	火入れ	放火	放火の疑い	その他	不明・調査中
合計	13	1	2				1													1				2			4	2	
建物	3	1	1				1																						
林野	3																			1				1				1	
車両	1																										1		
船舶																													
航空機																													
その他	6		1																					1			3	1	

3. 火災月別発生状況

区分	月												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
建物			1	1							1		3
林野	1	1	1										3
車両							1						1
船舶													
航空機													
その他		3		1		1			1				6
合計	1	4	2	2		1	1		1		1		13

4. 過去5年間の火災発生状況

区分	出火件数						爆発件数	焼損棟数	焼損面積		死傷者		損害額 (千円)
	計	建物	林野	車両	船舶	その他			建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
平成29年	24	14	1	2		7		17	182		4	1	19,467
平成30年	16	7	3	2		4		8	149	2	1		12,968
令和元年	21	9	3			9		12	528	13	3	1	21,869
令和2年	16	11		2		3		21	496				26,023
令和3年	13	3	3	1		6		3	25	62		1	551
合計	90	44	10	7		29		61	1,380	77	8	3	80,878

防火管理者講習会修了者の状況

年 度	合 計	H28以前	H29	H30	R元	R2	R3
甲種修了者	2,218	1,979	46	48	47	34	64

建 築 同 意

1. 建築同意処理状況

月別	区分	合 計	新 築	増 築	改 築	移 転	用途変更
合 計		26	21	4		1	
1							
2		2	2				
3		2	2				
4							
5		3	2	1			
6							
7		1	1				
8		2	2				
9		3	3				
10		4	2	2			
11		4	3	1			
12		5	4			1	

2. 年別同意処理状況

種別	年別	合 計	H29	H30	R元	R2	R3
合 計		254	76	50	53	47	28
同意件数		224	66	46	47	39	26
通知書類		30	10	4	6	8	2

防火対象物の現況

政令項目別		区分	防火対象物数	甲種 防火 対象物	乙種 防火 対象物	防火管理者選任等の状況		
						選任義務	選任届出済	選任率
						対象物件	対象物件	(%)
総 数			988	284	49	333	318	95.5
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1	1		1	1	100.0
	ロ	公会堂・集会場	38	20	11	31	30	96.8
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	1	1		1		
	ロ	遊技場・ダンスホール	3	3		3	3	100.0
	ハ	風俗店						
3	イ	待合・料理店	1	1		1	1	100.0
	ロ	飲食店	21	3	18	21	17	81.0
4		百貨店・マーケット	71	43	2	45	44	97.8
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	44	32	4	36	36	100.0
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	111	18		18	14	77.8
6	イ	病院・診療所等	14	10	1	11	11	100.0
	ロ	老人短期入所施設等、特別養護老人ホーム	23	23		23	23	100.0
	ハ	老人デイサービスセンター等、保育所	20	8	1	9	9	100.0
	ニ	幼稚園・盲・特別支援学校	9	5		5	5	100.0
7		小学校・中学校・高等学校等	15	15		15	15	100.0
8		図書館・博物館・美術館	5	5		5	5	100.0
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等						
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	3	1	2	3	3	100.0
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	3					
11		神社・寺院・教会等	16	3	6	9	9	100.0
12	イ	工場・作業場	242	41		41	41	100.0
	ロ	映画テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	6					
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14		倉庫	167	1		1	1	100.0
15		前各項に該当しない事業場	129	19	3	22	20	90.9
16	イ	複合用途防火対象物(特定)	37	28	1	29	27	93.1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	4	3		3	3	100.0
16の2		地下街						
16の3		準地下街						
17		重要文化財・重要民俗資料等の建造物	4					
18		延長50m以上のアーケード						
19		市町村長の指定する山林						
20		自治省令で定める舟車						

消防用設備等の届出状況

設備別	区 分	合 計	着 工	設 置
合 計		110	9	101
消火設備(小計)		34	8	26
消火器		16		16
屋内消火栓設備		7	3	4
スプリンクラー設備		0		
泡消火設備		1		1
不活性ガス消火設備		1	1	
粉末消火設備		2	1	1
屋外消火栓設備		3	1	2
パッケージ型消火設備		4	2	2
警報設備(小計)		50		50
自動火災報知設備		45		45
消防機関へ通報する火災報知設備		1		1
非常警報設備		4		4
避難設備(小計)		26	1	25
避難器具		2	1	1
誘導灯・誘導標識		24		24

各種届出等の状況

種別 \ 月	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
合 計	814	68	56	61	80	54	70	71	35	43	86	104	86
圧縮アセチレンガス等	14	1	2		2		1	2	3			2	1
防火管理者選任・解任届出	53	5	7	5	6	5	3	3	2		6	7	4
消 防 計 画 の 届 出	74	7	7	4	22	7	4	3	1		7	8	4
防火対象物使用開始届出	19	1	1	2	1		1	2	2	4	3	2	
消防用設備等点検報告	383	28	26	31	32	29	45	35	19	27	41	44	26
炉・かまど・ボイラー・ 給湯・湯沸設備・乾燥設備・ 火花を発生する設備設置	42		1	2	3	2	3	5		1	2	11	12
変電・発電・蓄電池設備設置	27	1	2	1	2	3	2	3	1		4	4	4
ネオン管灯設備設置													
水素ガスを充填する気球の設置													
火災とまぎらわしい煙又は火炎 を発生するおそれのある行為	32	10		1	3	2		1			3	1	11
煙火打ち上げ・仕掛け	14	1		1				1		4	2	3	2
催 し 物 開 催	4				1							1	2
水 道 断 水 ・ 減 水	9	4	1	1			1	2					
道 路 工 事	130	10	7	12	8	6	9	12	6	7	17	16	20
少量危険物 貯蔵・取扱	8		2					2			1	3	
変 更													
廃 止	3			1					1			1	
指定可燃物 貯蔵・取扱	2						1					1	
変 更													
廃 止													
毒物・劇物の届出													

防 火 指 導

	項 目	指 導 回 数	対 象 人 員
消火・通報・避難訓練	旅 館 ・ ホ テ ル	2	25
	幼 稚 園 ・ 保 育 園	3	451
	福 祉 施 設	1	107
	学 校	3	354
	病 院	0	0
	店 舗	3	46
	工 場	5	660
	そ の 他	1	4
	小 計	18	1,647
	防 災 映 画	9	1,136
	火 災 予 防 ポ ス タ ー	14	106
	消 防 自 動 車 試 乗 会		
	小 計	23	1,242
	合 計	41	2,889

※火災予防ポスターは小・中学校数、及びポスターの提出枚数

危險物

類別・数量別危険物施設数

(令和4年4月1日現在)

製造所等の別 区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				危険物事業所数	
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所		一般取扱所
合計	447	26	323	89	155		39		31	9	98	32			66	105
類別 (単独) 第1類	1		1	1							0					
第2類	5		3	3							2				2	
第3類	0		0								0					
第4類	426	21	310	76	155		39		31	9	95	32			63	
第5類	3		3	3							0					
第6類	0		0								0					
(混在)	12	5	6	6							1				1	
数量別 5倍以下	103		80	23	13		21		22	1	23	3			20	
5倍を越え～10倍以下	79	5	55	21	26		7		1		19	2			17	
10～50	133	4	106	11	70		9		8	8	23	7			16	
50～100	72	12	47	16	30		1				13	4			9	
100～150	22	2	13	5	8						7	6			1	
150～200	9		8	5	3						1	1				
200～1000	28	3	13	7	5		1				12	9			3	
1000～5000	1		1	1							0					
危険物保安監督者 選任義務数	353	26	245	85	155		2			3	82	32			50	

容量別屋外タンク貯蔵所数

(令和4年4月1日現在)

容量別 \ 類別	合 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類
合 計	155				155		
10KL未満	8				8		
10KL～50KL未満	99				99		
50KL～100KL未満	33				33		
100KL～200KL未満	10				10		
200KL～300KL未満	3				3		
300KL～500KL未満	2				2		

危険物施設の立入検査

(令和3年度)

製造所等の別 区分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
施 設 数	447	26	323	89	155		39		31	9	98	32			66
検 査 回 数	35	1	34	1	6				27		0				

製造所等の別 区分		合計	製造所	貯蔵所							取扱所					
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
合計		219	50	62	18	25	0	8	0	10	1	107	13	0	0	94
許可申請	設置	20	2	16	8	2		3		2	1	2				2
	変更	53	13	9	1	7				1		31	2			29
完成検査申請	設置	10	1	9	4	2		1		2		0				
	変更	62	14	13	2	8		2		1		35	2			33
保安検査申請		0		0								0				
仮使用承認申請		33	5	7	1	6						21	2			19
譲渡引渡届		1		1						1		0				
廃止届		5		4				1		3		1				1
軽微変更届		35	15	3	2			1				17	7			10

区分		
仮貯蔵承認申請		1
予防規程認可申請	制定	
	変更	2
合計		3

完成検査前検査状況

(令和3年度)

区分	月別	合計													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
水張		6				4						2			
水圧		1			1										

町別危険物施設・事業所数

(令和4年4月1日現在)

製造所等の別 区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所			事業所数	
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所		一般取扱所
合計	447	26	323	89	155	0	39	0	31	9	98	32		66	105
磯原町	200	16	146	30	94		17		2	3	38	9		29	35
中郷町	146	8	104	36	38		12		15	3	34	12		22	41
華川町	37	2	29	15	10		4				6			6	6
大津町	18		12	2	2		1		6	1	6	4		2	7
関南町	18		11	2	1		3		4	1	7	4		3	7
関本町	28		21	4	10		2		4	1	7	3		4	9
平潟町	0		0								0				

通 信

119番通報等受信内訳

	消防指令センター受信件数
	自己本部受信件数

内容	火災	救急	救助	その他 災害	同報	間違い	いた ずら	試験	通報 訓練	その他	病院 問合せ	災害 問合せ	他本部 転送	転送	小計
1月	1	170	2	0	6	5	1	8	1	7	3	0	1	0	205
		2							4		4	0			10
2月	4	129	4	4	7	7	1	4	1	2	3	0	0	0	166
		9							6		2	0			17
3月	3	159	1	4	7	12	0	2	1	5	1	2	3	0	200
		3							5		4	3			15
4月	2	148	1	2	13	12	0	13	12	5	5	2	1	0	216
		6							10		3	0			19
5月	0	125	0	6	10	14	3	11	2	12	8	0	4	0	195
		4							4		6	0			14
6月	3	145	0	3	2	4	1	4	3	10	8	0	1	0	184
		3							4		4	1			12
7月	0	142	3	2	6	4	0	10	1	8	2	0	3	0	181
		4							2		10	2			18
8月	2	189	1	8	4	8	1	4	1	11	2	0	3	0	234
		1							1		5	1			8
9月	1	156	2	3	12	15	2	1	1	16	10	0	0	0	219
		3							12		1	0			16
10月	0	165	1	3	6	8	1	17	4	7	6	0	1	0	219
		4							14		11	3			32
11月	1	143	0	2	8	4	0	11	3	10	2	1	0	0	185
		3							9		0	0			12
12月	1	155	0	3	12	10	2	5	0	6	5	0	2	0	201
		5							4		7	0			16
小計	18	1826	15	40	93	103	12	90	30	99	55	5	19	0	2405
		47							75		57	10			189

消防指令センター119番専用電話

- ・固定電話
- ・携帯電話

無線設備

基地局

無線局		区分		出力
マウントあかね基地局	1	活動波	消防波(北茨1消)	6.5W
			救急波(北茨2救)	6.5W
		主運用波	主運用波 5	10W
		統制波	統制波 1～3	10W

陸上移動局

区分		出力	配置		
			消防本部	消防署	消防団
卓上固定型移動局無線機	1	5W	1		
可搬型移動局無線機	1	5W		1	
車載無線機	17	5W	3	14	
携帯無線機	25	2W	5	20	

署活動無線機	40	1W	10	30	
--------	----	----	----	----	--

簡易デジタル無線機	80	5W	5		75
-----------	----	----	---	--	----

緊急通報システム受信状況

区 分 月	契約者数	受信総数	緊 急					相 談	誤 報	試 験
			消防車 出動	P A 出動	救急要請	協力員等	警察連絡			
1	205	9	0	0	0 (0)	0	0	0	1	8
2	202	12	1	1	5 (5)	0	0	0	3	4
3	202	10	0	0	4 (2)	0	0	0	0	6
4	202	6	0	0	3 (1)	0	0	0	1	2
5	204	9	1	1	2 (2)	1	0	0	0	7
6	200	4	0	0	2 (1)	0	0	0	0	2
7	200	115	0	0	0 (0)	0	0	1	0	114
8	198	12	1	1	4 (3)	0	0	0	8	0
9	196	106	0	0	1 (1)	0	0	0	0	105
10	192	43	0	0	1 (1)	1	0	0	2	39
11	192	4	0	0	0 (0)	0	0	2	0	2
12	193	15	0	0	3 (3)	0	0	0	1	11
合計		345	3	0	25 (23)	2	0	3	16	300

※PA出動及び救急出動欄の（）書きは搬送人員

※PA出動 消防車と救急車の同時出動

氣象

(1) 気象状況

近年、世界的にも異常気象等により多大な被害を受けている。本市は年間を通じ気候は海洋の影響で温暖であるが、局地的な大雨及び台風時山間部に多量の降雨で災害になりやすい地形であり常時気象観測を行い、気象状況を把握し被害の軽減に努めた。

種別 月	最高 気温 (°C)	最低 気温 (°C)	平均 気温 (°C)	平均 湿度 (%)	平均 風速 (m/s)	最大 風速 (m/s)	降 雨 量 (mm)	1 最大 降雨 日量 (mm)
1	15.4	-4.0	3.9	59.1	2.0	22.4	21.5	8.0
2	18.9	-3.0	6.4	49.8	2.6	26.9	82.0	81.0
3	19.2	0.9	10.3	63.5	2.4	21.2	253.0	76.0
4	22.4	2.5	12.4	63.7	2.2	17.7	253.0	66.0
5	24.6	6.4	16.6	79.9	1.6	19.3	126.5	29.5
6	24.9	14.2	19.6	89.3	1.6	13.9	128.5	64.0
7	29.5	18.0	23.1	94.0	1.3	11.6	170.5	34.5
8	36.4	17.9	24.6	92.0	1.7	14.1	335.5	91.0
9	27.9	14.3	20.4	88.4	1.6	12.3	171.5	57.5
10	28.6	6.2	16.6	81.7	1.9	16.8	152.0	60.0
11	20.7	2.0	12.5	68.8	1.7	16.4	99.5	67.5
12	17.6	-2.1	6.9	62.0	2.1	24.2	140.0	74.5
	最高気温	最低気温	平均気温	平均湿度	平均風速	最大風速	降雨量	1日最大 降雨量
	36.4	-4.0	14.4	74.4	1.9	26.9	1933.5	91.0

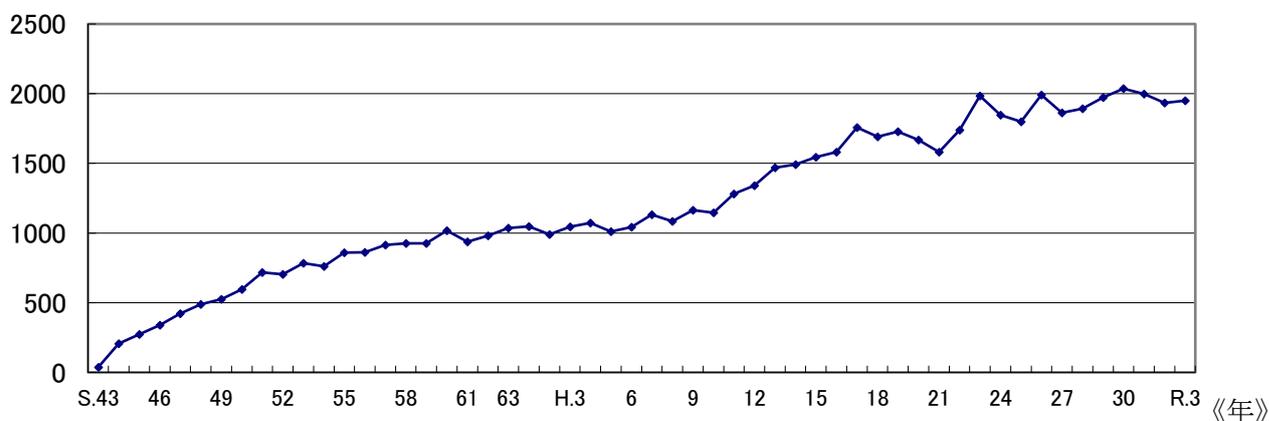
(2) 月別気象注意報及び警報発令状況

月 発令状況		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
		特別警報	大雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大雪	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
暴風	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
暴風雪	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
波浪	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高潮	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警報	暴風	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	大雨	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	洪水	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	波浪	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	大雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暴風雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
注意報	強風	6	8	6	8	7	2	2	3	3	5	6	6	62
	波浪	5	8	7	6	7	3	2	4	3	8	8	8	69
	高潮	0	1	0	0	2	2	1	4	1	0	2	2	15
	大雨	0	1	1	3	0	1	6	3	2	0	0	0	17
	洪水	0	2	1	2	0	0	2	2	1	0	0	0	10
	大雪	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	雷	0	1	6	6	12	10	13	21	7	5	5	5	91
	乾燥	4	2	6	3	3	0	0	0	0	0	1	1	20
	濃霧	4	1	2	2	9	9	7	11	8	12	5	5	75
	霜	0	0	0	18	1	0	0	0	0	4	13	13	49
	低温	14	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	着雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
火災気象通報	22	28	24	25	26	1	4	5	3	4	9	31	182	
大雨に関する情報	0	0	0	0	0	2	13	10	4	1	1	0	31	
大雪に関する情報	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
地震・津波に関する情報	6	10	5	2	6	1	1	1	2	2	6	10	52	
台風に関する情報	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0	6	
合計	72	75	58	75	73	31	52	67	36	44	56	81	720	

救急・救助

北茨城市における救急出場件数の推移

《出場件数》



過去5年間の出場件数・搬送人員状況

年	出場件数 (件)	増減率 (%)	搬送人員 (人)	増減率 (%)
平成 29 年	1,974	82(4.3)	1,853	75(4.2)
平成 30 年	2,036	62(3.1)	1,905	52(2.8)
平成 31 年(令和元年)	1,999	-37(-1.8)	1,856	-49(-2.6)
令和 2 年	1,935	-64(-3.2)	1,775	-81(-4.4)
令和 3 年	1,950	15(0.8)	1,836	61(3.4)

救急隊配置状況

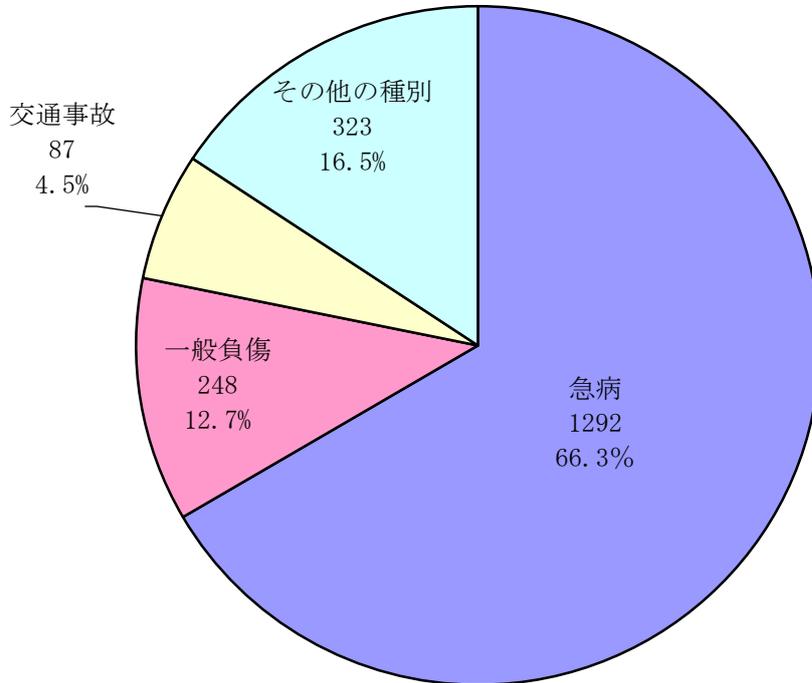
	消 防 署
管轄	市内全域 (磯原町・中郷町・華川町・関南町・大津町・平潟町・関本町) 常磐自動車道 (上り 北茨城 IC~高萩 IC・下り 北茨城 IC~勿来 IC)
管轄人口	41,388 人 (R3.4.1 現在)
救急隊数	4 隊 (内 2 隊はポンプ隊・救助隊が兼務)
救急隊員数	53 名 (内 救急救命士 11 名)
救急車台数	4 台 (高規格)
出場件数	1,950 件 (内 市外 2 件)
現着平均	10 分 56 秒
病院収容平均	51 分 57 秒

救急出場状況

*下段は搬送人員

出 場 件 数	救 急 事 故 種 別													
	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
											転 院	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
1,950	8	0	5	87	21	8	248	5	17	1,292	248	0	0	11
1,836	1	0	2	97	21	8	232	4	10	1,213	248	0	0	0

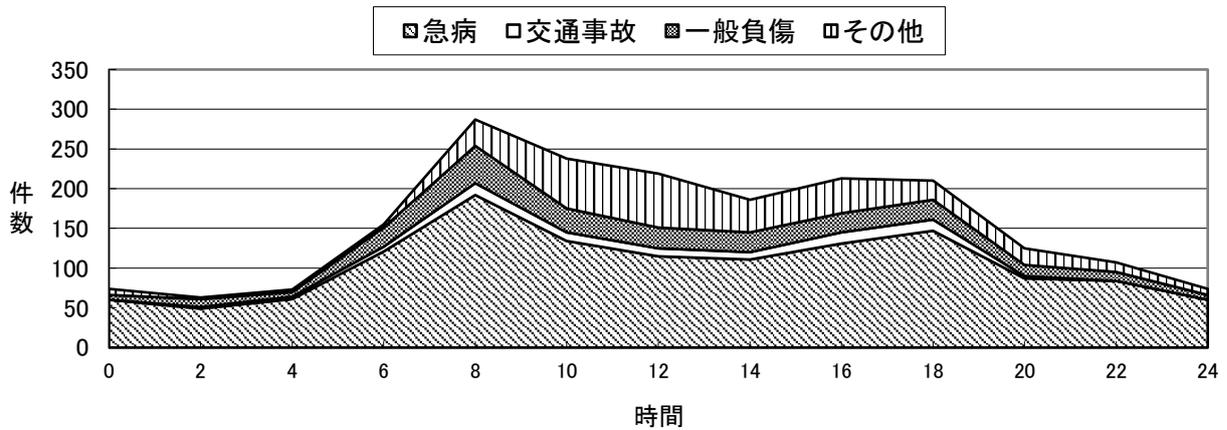
事故種別出場状況



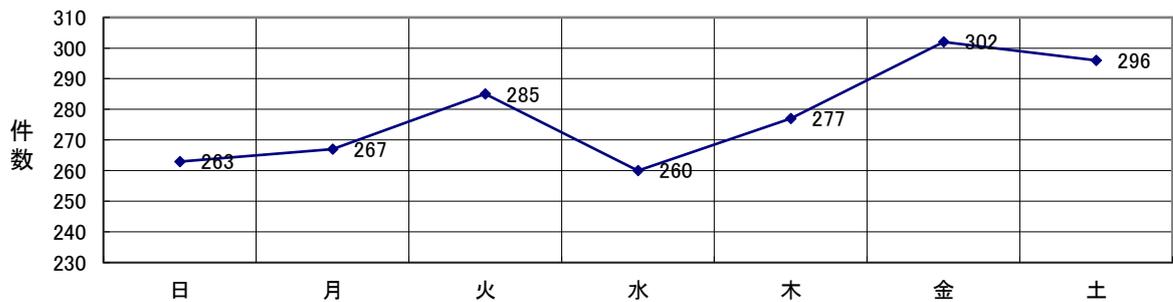
月別出場件数・搬送人員状況

種 別 月 別		計	救 急 事 故 種 別													
			火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
1	出場件数	177			1	8	1		19		4	120	24			
	搬送人員	163			0	8	1		18		2	110	24			
2	出場件数	146	2		1	7	1	1	12		1	98	22			1
	搬送人員	133	0		1	7	1	1	10		1	90	22			0
3	出場件数	173	1			11	3	2	20	2		112	21			1
	搬送人員	156	0			11	3	2	17	1		101	21			0
4	出場件数	162	1		2	4			21		3	108	22			1
	搬送人員	144	0		1	4			18		2	97	22			0
5	出場件数	137				6	1	2	19		2	91	14			2
	搬送人員	131				7	1	2	18		2	87	14			0
6	出場件数	151				10	4	2	19		1	93	21			1
	搬送人員	148				14	4	2	19		0	88	21			0
7	出場件数	154				7	2		23			100	21			1
	搬送人員	153				9	2		23			98	21			0
8	出場件数	199	2			9	5		18	1		146	17			1
	搬送人員	190	0			9	5		18	1		140	17			0
9	出場件数	168	1		1	5	1		24		3	108	23			2
	搬送人員	158	0		0	7	1		23		2	102	23			
10	出場件数	174				8			23		1	114	27			1
	搬送人員	171				8			23		0	113	27			0
11	出場件数	148	1			5	2	1	27	1	1	91	19			
	搬送人員	143	1			6	2	1	27	1	1	85	19			
12	出場件数	161				7	1		23	1	1	111	17			
	搬送人員	146				7	1		18	1	0	102	17			
計	出場件数	1,950	8		5	87	21	8	248	5	17	1,292	248			11
	搬送人員	1,836	1		2	97	21	8	232	4	10	1,213	248			0

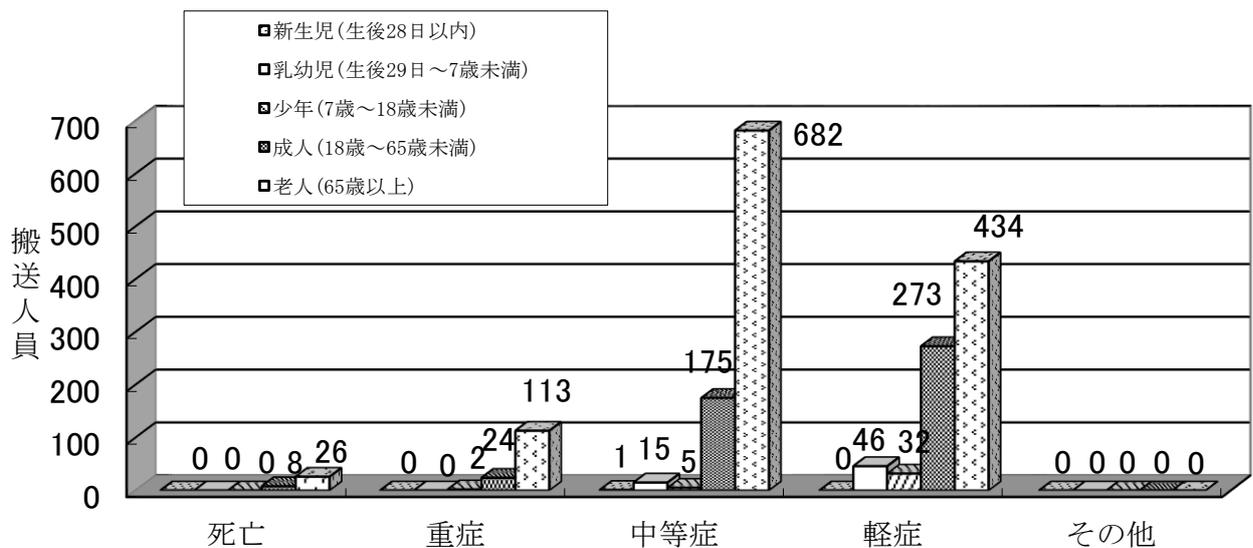
時間別出場件数状況



曜日別出場件数



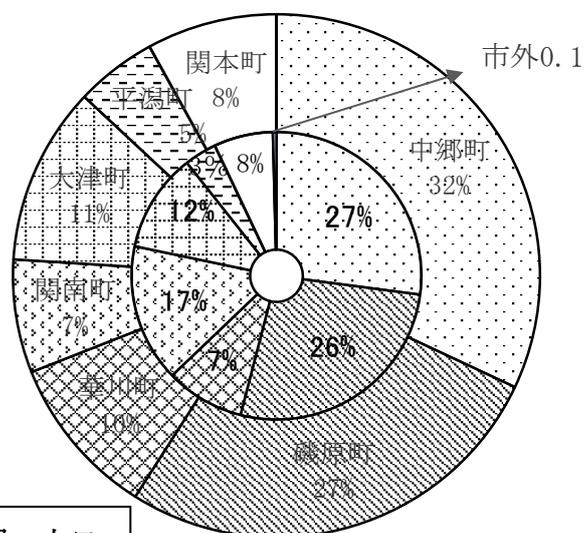
年齢別・傷病程度別搬送状況



町別人口及び出場比率

町名	出場件数	人口
中郷町	529	13,282
磯原町	510	11,168
華川町	145	4,064
関南町	327	2,921
大津町	226	4,680
平潟町	52	1,869
関本町	159	3,404
市 外	2	

(人口は令和3年4月1日現在)



外円：人口
内円：件数

医療機関別搬送人員

医療機関名	所在市町村	搬送人員			
		休日	夜間	平日	合計
北茨城市民病院	北茨城市	98	215	513	826
日製日立総合病院	日立市	65	138	301	504
県北医療センター高萩協同病院	高萩市	39	67	166	272
聖麗メモリアル病院	日立市	8	15	27	50
呉羽総合病院	いわき市	8	11	19	38
いわき市医療センター	いわき市	2	4	24	30
瀧病院	北茨城市	1	2	22	25
常磐病院	いわき市	2	6	12	20
水戸医療センター	水戸市	4	0	7	11
嶋崎病院	日立市	2	0	7	9
水戸済生会総合病院	水戸市	0	2	3	5
ひたち医療センター	日立市	2	0	3	5
福島労災病院	いわき市	0	2	3	5
その他の県内医療機関		1	4	16	21
その他の県外医療機関		2	1	12	15
ラピッドカーによる搬送(上記内数)		7	44	10	61
ドクターヘリによる搬送(上記内数)		3	0	8	11
合 計		234	467	1135	1836

心肺蘇生処置実施状況

☆蘇生率（救急隊の処置により心拍再開した者の数）…17.0%

☆バイスタンダーによる応急処置実施率…………… 76.6%

全てのCPR（心肺蘇生）対象者数……………	47人
蘇生者（医療機関搬入前心拍再開者数）……………	8人
7日後の生存者数……………	3人
1ヵ月後の生存者数……………	1人
社会復帰者数……………	0人

救急救命士稼働状況

救急救命士稼働日数	365日	全体の100%（内 救急出場無日数1日間）
救急救命士出場件数	1,887件	全体の96.8%
特定行為処置件数	147件	器具を使用した気道確保……………33件 静脈路確保……………43件 （内訳 ブドウ糖投与・7 心停止前・5 心停止後・31） 薬剤投与……………21件 血糖値測定……………39件 ブドウ糖投与……………7件 除細動……………4件

普通救命講習対象者別実施状況

区分	回数・人数	消防団	官公庁	事業所	一般	学校	合計	備考
普通救命講習Ⅰ	回数	0回	3回	4回	2回	2回	11回	再講習27名を含む
	対象人員	0人	21人	19人	13人	16人	69人	
普通救命講習Ⅱ	回数	0回	0回	5回	0回	2回	7回	再講習3名を含む
	対象人員	0人	0人	47人	0人	13人	60人	
普通救命講習Ⅲ	回数	0回	0回	1回	0回	0回	1回	再講習5名を含む
	対象人員	0人	0人	8人	0人	0人	8人	
その他	回数	2回	0回	0回	0回	0回	2回	
	対象人員	11人	0人	0人	0人	0人	11人	

市民による応急手当実施状況

応急処置内容	心肺蘇生	止血・保温・その他	合計
応急処置件数	37件	11	48件

救助出場・活動件数・救助人員

種 別 件数・人員	火 災		交通事故	水難事故	風水害等	機械事故	建物等	ガス・酸欠	爆発	その他	計
	建物	建物以外									
出動件数	0	0	5	4	0	0	5	0	0	4	18
出動人員	0	0	73	53	0	0	69	0	0	55	250
活動件数	0	0	5	1	0	0	1	0	0	4	11
活動人員	0	0	73	14	0	0	14	0	0	55	156
救助人員	0	0	6	1	0	0	1	0	0	4	12

救助出場状況

番号	月日	覚知時間	発生概要	出動人員	活動人員	救助人員	事故種別	活動状況
1	1/11	11:25	関本町富士ヶ丘 住宅	14	0	0	水難事故	不従事
2	1/14	15:11	中郷町上桜井 大北川樋門	9	0	0	水難事故	不従事
3	1/15	16:36	中郷町石岡 孝行橋下東側左岸	14	14	1	その他	従事
4	1/19	20:05	中郷町日棚 塩田川法面	14	14	1	交通事故	従事
5	2/11	4:55	大津町 平瀧大津油槽所付近堤防	14	0	0	水難事故	不従事
6	2/17	20:07	中郷町日棚 住宅	14	14	1	建物事故	従事
7	2/21	13:30	中郷町石岡 石岡第一発電所北側道路上	14	14	1	その他	従事
8	3/2	9:48	磯原町大塚 鹿の倉団地入口	13	13	1	交通事故	従事
9	3/29	12:03	関本町福田	14	14	1	その他	従事
10	4/15	7:43	中郷町足洗付近沖合	16	0	0	水難事故	不従事
11	4/18	20:10	磯原町豊田 住宅	14	0	0	建物事故	不従事
12	7/13	17:57	中郷町石岡 住宅	14	0	0	建物事故	不従事
13	7/14	20:55	中郷町上桜井 市道	13	13	1	その他	従事
14	7/26	13:56	中郷町松井 住宅	13	0	0	建物事故	不従事
15	8/24	8:14	関本町小川 田園都市センター西側	16	16	1	交通事故	従事
16	9/19	17:09	華川町小豆畑 花園川上流右岸	14	14	1	水難事故	従事
17	9/30	10:19	磯原町豊田 北茨城大子線相田橋東側	15	15	1	交通事故	従事

番号	月日	覚知 時間	発 生 場 所	出動 人員	活動 人員	救助 人員	事故種別	活動状況
18	10/3	19:30	磯原町豊田 交差点	15	15	2	交通事故	従事

出場件数 18 件（不従事 7 件）

警 防

車 両 現 況

(令和4年4月1日現在)

所 属	用途	登録番号	車 両 ・ ポ ン プ											購入年月日	備 考	
			社名	型 式	年式	全長 (m)	全巾 (m)	全高 (m)	定員	総重量 (kg)	総排気量 又は 定格出力 (kw)	社名	級別			製造年
消 防 本 部	防 災 教 室 車	水戸800さ1336	マツダ	KG-SK54T	H11	4.52	1.73	2.47	3	2,595	2.49				H11.10.25	44号車
	先 導 車	水戸800す5457	ニッサン	DBF-VY12	H20	4.39	1.69	1.70	5	1,760	1.49				H20.3.6	52号車 石油備蓄対策補助
	危 険 物 指 導 車	水戸501ひ3012	トヨタ	DBA-NZE141G	H21	4.42	1.69	1.49	5	1,475	1.49				H21.6.9	危険物安全協議会より寄贈
	本 部 分 団 車	水戸800す6988	ニッサン	DBA-Y12	H22	4.41	1.69	1.69	5	1,486	1.49				H22.1.13	石油備蓄対策補助
	連 絡 車	水戸532り119	トヨタ	DBA-KGC30	H24	3.64	1.66	1.53	5	1,185	0.99				H24.11.9	トヨタカローラより寄贈
	北 星 号	水戸580ほ4051	ダイハツ	DBA-L375S	H25	3.39	1.47	1.75	4	1,140	0.65				H25.1.22	北星会より寄贈
	防 災 活 動 車	水戸880あ1254	ニッサン	HBD-DR17V	H28	3.39	1.47	1.94	4	1,410	0.65				H28.12.12	全国消防協会より寄贈
	本 部 車	水戸501ふ8094	ホンダ	DAA-ZE2	H21	4.39	1.69	1.42	5	1,465	1.33				H21.12.25	H30.9市役所から所管替え
火 災 調 査 車	水戸831み119	ニッサン	LDF-VW6E26	H31	4.69	1.69	2.15	6	3,245	2.48				H31.1.28	59号車 石油備蓄対策補助	
消 防 署	化 学 車	水戸88さ2747	三 菱	KC-FK629GY改	H12	6.74	2.26	2.70	6	8,280	8.20	日機	A-3	H 12	H11.3.20	42号車
	消 防 車	水戸800さ7597	三 菱	KK-FG53ED	H14	5.83	1.88	2.75	6	5,980	5.24	日機	A-2	H 14	H14.2.28	46号車 (4WD)
	水 槽 車	水戸800は318	三 菱	KK-FK61HGY	H15	7.70	2.20	2.80	6	8,760	8.20	G M	A-2	H 15	H15.2.27	47号車
	広 報 車	水戸800す651	トヨタ	UA-ACR40W	H16	4.78	1.79	1.95	8	2,200	2.36				H16.2.5	48号車
	水 槽 車	水戸800は602	日 野	ADG-GD7JGWA改	H18	7.00	2.26	2.90	6	8,800	6.40	日機	A-2	H 18	H18.2.28	51号車
	高規格救急車	水戸800す6809	トヨタ	CBF-TRH226S	H21	5.63	1.89	2.54	7	3,215	2.69				H21.10.14	53号車 (4WD)
	消 防 車	水戸830す54	日 野	TKG-XZU685M	H25	5.77	1.92	2.90	5	6,825	4.00	森田	A-1	H 25	H25.3.19	54号車 (4WD)
	救 助 工 作 車	水戸830ふ55	日 野	SDJ-GX7JGAA改	H26	7.80	2.30	3.20	5	11,185	6.40	森田		H 26	H26.12.11	55号車
	高規格救急車	水戸800せ1921	トヨタ	CBF-TRH226S	H28	5.65	1.90	2.49	7	3,235	2.69				H28.1.8	56号車 (4WD)
	指 揮 隊 車	水戸830ち57	トヨタ	LDF-KDH206K	H28	4.69	1.69	2.36	5	3,365	2.98				H28.2.18	57号車 (4WD)石油備蓄補助
	高規格救急車	水戸800せ2607	トヨタ	CBF-TRH226S	H28	5.65	1.9	2.55	7	3,255	2.69				H28.10.13	58号車 (4WD)緊援隊設備整備補助
	支 援 車	水戸830は60	日 野	2HG-XZU775M	R 1	6.21	2.18	2.76	3	6,905	4.00				R1.9.24	60号車 (4WD)
高規格救急車	水戸830そ9910	ニッサン	CBF-CS8E26改	R3	5.33	1.88	2.49	7	3,255	2.48				R3.1.15	61号車 (4WD)	

消 防 器 具 等 の 現 有 状 況

器具名		配置別	計
破 壊 器 具	万能斧		10
	削岩機		3
	ハンマードリル		1
	エンジンカッター		4
	エンジンチェンソー		7
	エアソー		2
	レシプロソー		1
	ガス溶断器		1
救 助 器 具	油圧スプレッター		2
	油圧カッター		2
	油圧ジャッキ		3
	マット型空気ジャッキ一式		1
	救命索発射銃		1
	可搬式ウインチ		5
	送排風機		2
	空気式救助マット		1
	救命ゴムボート		3
	船外機		1
	潜水資器材一式		10
	レスキューチューブ		6
	舟型担架		3
	救命胴衣		133
	救命浮環		13
	ロープ登降器		2
	救助縛帯		6
ゴージャック一式		1	

器具名		配置別	計
保 安 器 具 等	空気呼吸器		26
	空気ボンベ		87
	酸素呼吸器		6
	酸素ボンベ		57
	防毒衣		3
	耐電衣		5
	耐電ズボン		5
	耐電長靴		5
	耐電手袋		5
	耐熱服		2
	放射線測定器		4
	可燃性ガス測定器		2
そ の 他	携帯警報器		5
	三連はしご		6
	カギ付きはしご		4
	小型発電機		17
	投光器		14
	携帯拡声器		14
	組立式水槽		1
	除染シャワー		1
	レベルA防護服		2
	レベルB防護服		2
画像探索機		1	
熱画像直視装置		1	

地域別消防水利施設設置状況

(令和4年4月1日現在)

種別 町別	公 設				私 設				合 計
	消火栓	防 火 水 槽		プール	消火栓	防火水槽		プール	
	地下式	40t以上	40t未満		地下式	40t以上	40t未満		
中郷町	148	40	4	4	52	21			269
磯原町	179	32	1	2	16	8			238
華川町	53	22		4	8	5			92
関南町	66	11	1	1	3	4			86
大津町	85	14		2	9	8			118
平潟町	47	10		1	3	4			65
関本町	38	29	1	2	4	11		1	86
合 計	616	158	7	16	95	61	0	1	954

消防機関 の出場状況

令和3年分(本部・署・分団)

種別		月別(回数・人員)		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		合計		分団合計	
		回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
火災	火災	1	13	4	65	2	54	2	25			1	11	-	-			1	14			1	13			12	195	12	233		
	(うち林野火災)	1	13	1	16	1	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	69	3	104		
	誤報・いたずら	-	-	-	-	1	11	-	-			1	12	-	-	2	29	-	-	-	-	-	-	-	1	12	5	64	3	38	
救急	救急	177	560	146	453	174	525	163	497	137	426	150	455	154	463	201	607	167	512	172	527	149	459	160	515	1,950	5,999	-	-		
	うち誤報・いたずら			2	6	1	3	2	7	3	9			1	3	3	9	2	6	1	3	-	-	-	-	15	46	-	-		
救助	救助	4	51	4	55	1	14	2	30					3	40	1	16	2	29	1	15					18	250	1	3		
	うち誤報・いたずら	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	
	遭難に伴う出動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
風水害等の災害				2	8	-	-			-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	12	-	-	
演習訓練		1	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	87			
広報指導		3	10			2	9	-	-	1	2	2	9	1	6	8	47	2	11	6	28	18	56	2	10	45	188	8	25		
警防調査		23	149	15	97	14	95	14	80	16	###	21	151	14	92	12	82	14	83	17	86	14	86	17	###	191	1,214	-	-		
火災原因調査		1	4	5	24	5	15					1	7	-	-											12	50	-	-		
特別警戒		12	83	3	19	6	47	-	-	-	-	-	-	-	-	3	18	-	-	1	7	6	40	16	###	47	325	-	-		
捜索		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
予防査察				2	8	1	2	-	-	-	-			13	48	7	28	-	-	4	12	14	51	17	66	58	215	-	-		
その他	非火災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	調査	-	-	3	15	-	-	-	-	-	-	1	4	3	10	1	4	1	3	1	4	-	-	3	12	13	52	-	-		
	焼跡処理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	警察と協力			-	-	-	-	6	57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	57				
	危険排除	1	7	-	-	1	7	1	3			1	4	-	-	1	4			1	3	1	4	1	4	8	36	-	-		
	蜂駆除	-	-	-	-	-	-	-	-			2	6	7	23	18	67	30	98	15	55			-	-	72	249	-	-		
	公共作業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消防検査	9	19	12	32	9	19	17	32	10	27	14	41	17	58	17	43	11	18	12	30	12	23	14	47	154	389	-	-		
	P A 連携	46	176	34	135	35	141	41	159	38	143	34	133	29	116	47	188	38	144	45	176	34	129	32	124	453	1,764	1	2		
その他出動	2	6	1	4	1	3	1	3	4	12			4	11			2	6			3	9	3	11	21	65	-	-			
合計		280	1,108	231	915	252	942	247	886	206	710	228	833	248	928	318	1,133	268	918	275	943	252	870	266	1,025	3,071	11,211	25	301		

消防団

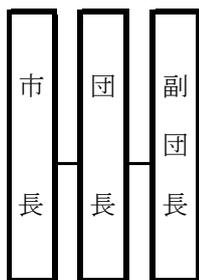
消防団の主な行事

月 日	行 事 名	場 所
2月 26日	正副団長会議	北茨城市消防本部
3月1日 ~ 7日	春季火災予防運動	市内一円
4月 18日	分団長会議	北茨城市消防本部
5月 15日	分団詰所巡視	各分団詰所
7月 30日	分団長会議(書面)	北茨城市消防本部
10月 28日	分団長会議	北茨城市消防本部
11月 7日	消防団火災予防広報	市内一円
11月9日~15日	秋季火災予防運動	市内一円
11月 26日	分団長会議	北茨城市消防本部

消防団の組織

(令和4年4月1日現在)

分団名	部名	町名	大字	分団長	副分団長	部長	班長	団員	現員	計
第1分団	1部	中郷町	上桜井	1		1	2	3	7	20
	2部		下桜井		1	2	3	7	13	
			足洗							
第2分団	1部		小野矢指		1	1	2	5	9	21
	2部		栗野	1		2	4	5	12	
第3分団			磯原町	石岡	1	1	2	5	15	24
		松井								
第4分団	1部	磯原町	内野		1	2	4	8	15	29
	2部		半蔵							
第5分団			峰岸	1		2	4	7	14	26
			西明寺							
			大塚	1	1	3	6	15	26	
第6分団	1部		華川町	上相田	1		1	3	8	13
	2部	豊田			1	2	5	11	19	
		磯原								
第7分団		華川町	旧磯原							
			中妻	1	1	2	4	9	17	17
第8分団		華川町	下小津田	1	1	2	3	7	14	14
第9分団			上小津田	1	1	1	1	4	8	8
第10分団	1部	関本町	山下	1	1	1	3	9	14	22
	2部		花園		1	1	2	4	8	
第11分団		関南町	才丸	1		1	2	4	8	26
			神岡上	1	1	4	8	12	26	
			神岡下							
第12分団		大津町	湯の網	1	1	1	3	9	15	15
第13分団			関本下							
第14分団		平潟町	仁井田	1	1	2	3	6	13	13
第15分団			大津	1	1	2	3	15	22	22
第16分団		関本町	北町	1	1	2	6	18	28	28
			平潟	1	1	2	4	6	14	14
第17分団			関本中	1	1	2	3	7	14	14
			福田							
第18分団			関本上	1	1	2	5	15	24	24
第19分団		八反	1	1	1	1	3	7	7	
本部分団		市内	富士ヶ丘	1	1	1	1	29	36	36
				小川	1	1	2	3	29	36
団長1名 副団長2名 市役所消防団24名 大規模災害OB分団29名 合計468名				20	20	45	90	237	412	412



24

29

消防団の定実員

(令和4年4月1日現在)

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
定 員								500
実 員	1	2	20	20	45	90	290	468

消防団員の職務報酬

(単位：円)

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	機関員
年 報 酬	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	3,000
出動報酬	3時間以内3,000円 3時間以上5時間未満4,000円 5時間以上7時間未満6,000円 7時間以上8,000円							

消防団員の入団・退団

(令和3年度中)

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
入 団							21	21
退 団			1	1	3	4	7	16

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
20才未満							2	2
20才～24才							17	17
25才～29才							45	45
30才～34才						5	35	40
35才～39才					4	9	30	43
40才～44才				1	5	11	43	60
45才～49才			5	4	7	19	45	80
50才～54才			3	3	11	24	25	66
55才～59才		1	5	5	11	18	23	63
60才～64才			6	7	6	2	15	36
65才以上	1	1	1		1	2	10	16
計	1	2	20	20	45	90	290	468

消防団員の勤続年数調

(令和4年4月1日現在)

階級 年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
5年未満						1	127	128
5年～ 9年					1	4	59	64
10年～14年			2	3	7	21	41	74
15年～19年			4	2	4	17	29	56
20年～24年				4	11	24	18	57
25年～29年		1	5	2	15	18	10	51
30年～34年			2	6	5	5		18
35年～39年	1	1	5	3	2		3	15
40年以上			2				3	5
計	1	2	20	20	45	90	290	468

消防車両の配置・性能等

(令和4年4月1日現在)

種別 分団別	車種	登録番号	車 両									ポ ン プ			購入年月日	備 考
			社名	型 式	年式	全長 m	全巾 m	全高 m	定員	総重量 kg	排気量 kg	社名	製造年	級別		
第1分団1部 (上桜井)	CD-1型	水戸880す4443	日野	BGG-XZU334M	H19	5.72	1.88	2.40	6	4,080	4,000	森田	H19	A-2	H19.3.2	
第1分団2部 (下桜井, 足洗)	CD-1型	水戸830せ 102	日野	TKG-XZU640M	H26	5.73	1.88	2.51	10	4,580	4,000	森田	H26	A-2	H26.11.10	
第2分団2部 (栗野, 日棚)	CD-1型	水戸830そ 202	日野	TKG-XZU640M	H26	5.72	1.88	2.51	6	4,460	4,000	森田	H26	A-2	H26.2.24	
第3分団 (石岡, 松井)	CD-1型	水戸800さ9162	三菱	KK-FE73EB	H15	5.21	1.88	2.40	10	4,020	5,240	森田	H15	A-2	H15.2.24	
第4分団1部 (内野, 半蔵)	CD-1型	水戸800す6971	日野	BDG-XZU334M	H21	5.74	1.88	2.50	6	4,240	4,000	森田	H21	A-2	H21.12.25	
第4分団2部 (峰岸, 西明寺)	CD-1型	水戸800す9362	日野	TKG-XZU600E	H25	5.30	1.88	2.57	6	4,290	4,000	森田	H25	A-1	H25.1.21	
第5分団 (大塚)	CD-1型	水戸800せ2753	トヨタ	TKG-XZU640	H28	5.69	1.88	2.46	6	4,360	4,000	森田	H28	A-2	H28.11.30	
第5分団 (木皿, 上相田)	CD-1型	水戸88に9095	三菱	KC-FE568	H11	5.21	1.88	2.40	10	4,010	4,560	森田	H11	A-2	H11.3.18	
第6分団1部 (豊田)	CD-1型	水戸800す7718	日野	BDG-XZU334M	H22	5.86	1.88	2.43	6	4,370	4,000	森田	H22	A-2	H22.12.9	
第6分団2部 (磯原, 旧磯原)	CD-1型	水戸800す 690	三菱	KK-FE73EB	H16	5.21	1.88	2.40	10	4,200	5,240	森田	H16	A-2	H16.2.18	
第7分団 (中妻, 下小津田)	CD-1型	水戸800る 7	日野	TKG-XZU640M	H27	5.77	1.88	2.51	6	4,440	4,000	森田	H27	A-2	H27.12.21	
第8分団 (上小津田)	CD-1型	水戸800す6339	日野	BDG-XZU334M	H21	5.70	1.88	2.33	6	4,170	4,000	森田	H21	A-2	H21.3.30	
第11分団 (神岡上, 神岡下)	CD-1型	水戸830す1101	日野	SKG-XZU640M	H24	5.58	1.88	2.44	6	4,260	4,000	森田	H24	A-2	H24.2.17	
第11分団 (湯の網, 関本下)	CD-1型	水戸831て 11	トヨタ	TPG-XZU640	R 1	5.74	1.88	2.46	10	4,460	4,000	森田	R1	A-2	R1.8.28	
第12分団 (仁井田)	CD-1型	水戸800す6972	日野	BDG-XZU334M	H21	5.74	1.88	2.50	6	4,240	4,000	森田	H21	A-2	H21.12.25	
第13分団 (大津)	CD-1型	水戸830て 13	日野	SKG-XZU640M	H24	5.56	1.88	2.44	6	4,450	4,000	森田	H24	A-2	H24.2.17	
第14分団 (北町)	CD-1型	水戸800す6340	日野	BDG-XZU334M	H21	5.70	1.88	2.33	6	4,170	4,000	森田	H21	A-2	H21.3.30	
第15分団 (平潟)	CD-1型	水戸800す7719	日野	BDG-XZU334M	H22	5.86	1.88	2.43	6	4,370	4,000	森田	H22	A-2	H22.12.9	
第16分団 (関本中 福田)	CD-1型	水戸830に 16	トヨタ	TPG-XGU640	H29	5.64	1.88	2.44	6	4,300	4,000	森田	H29	A-2	H29.11.22	
第17分団 (関本上, 八反)	CD-1型	水戸800は 691	三菱	KK-FE73EB	H16	5.21	1.88	2.40	10	4,200	5,240	森田	H16	A-2	H16.2.18	
第18分団 (富士ヶ丘)	CD-1型	水戸800さ9163	三菱	KK-FE73EB	H15	5.21	1.88	2.40	10	4,020	5,240	森田	H15	A-2	H15.2.24	

小型動力ポンプ付積載車の配置・性能等

(令和4年4月1日現在)

種別 分団名	登録番号	車 両									購入年月日
		社名	型式	年式	全長	全巾	全高	定員	総重量	排気量	
第2分団1部(小野矢指)	水戸800さ 7606	三菱	KG-FB 51AB	H14	4.90	1.69	2.30	10	2,800	2,830	H14.2.28
第9分団(山下)	水戸88に 4410	三菱	GB-YY 101	H9	4.63	1.69	2.13	10	2,390	1,990	H9.2.26
第10分団1部(花園)	水戸830な 101	トヨタ	LDF- KDY281	H31	5.10	1.75	2.24	6	3,330	2,980	H31.3.19
第10分団2部(才丸)	水戸830に 1002	トヨタ	LDF- KDY281	R3	5.01	1.79	2.25	6	3,170	2,980	R3.8.27
第19分団(小川)	水戸800す 7071	ニッサン	PDG- SZ5F24	H22	4.95	1.69	2.20	6	3,610	2,950	H22.2.15
市役所消防団	水戸88に 8713	三菱	GB-YY 101	H11	4.71	1.74	2.16	10	2,450	1,990	H11.1.29

小型動力ポンプの配置・性能等

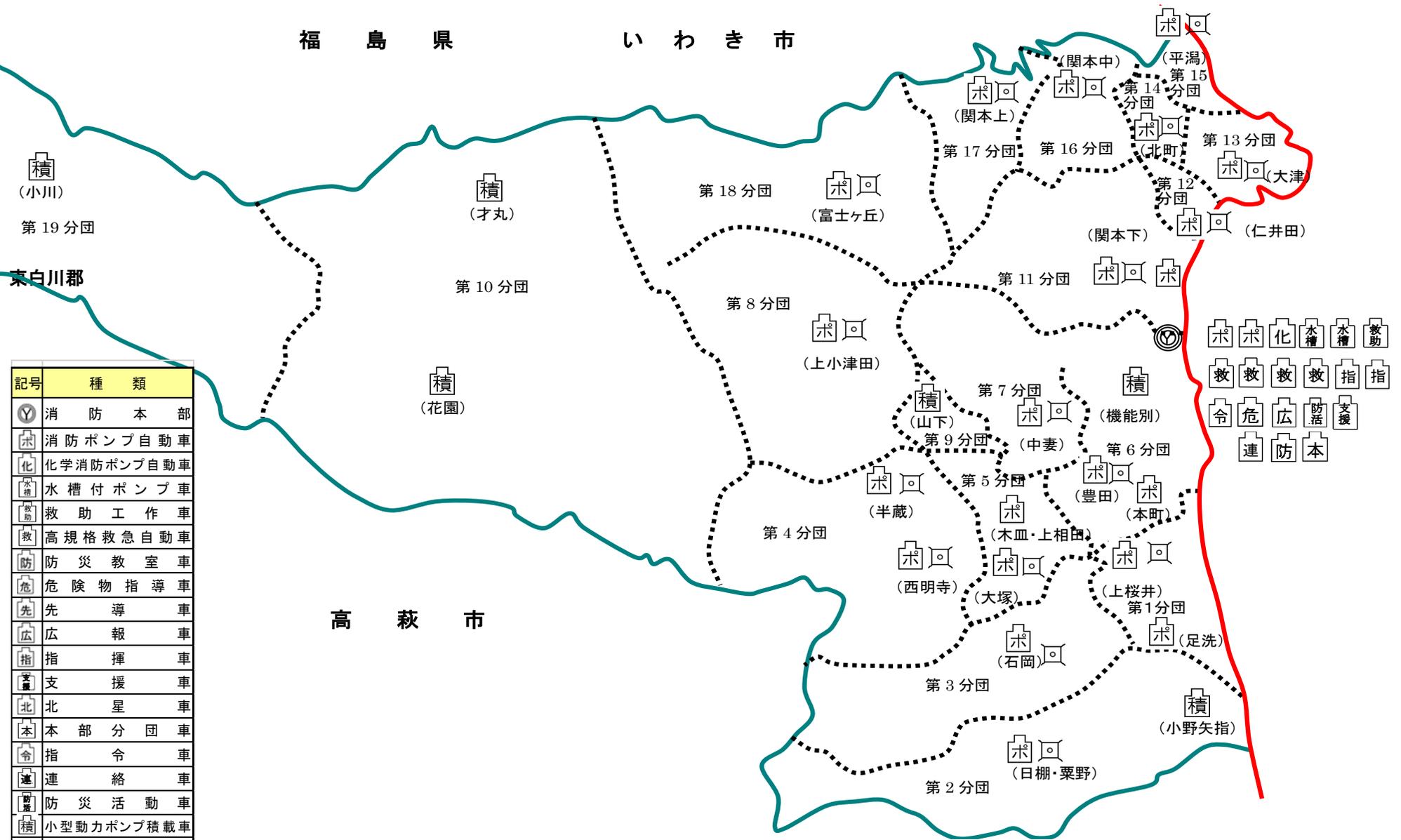
(令和4年4月1日現在)

分 団 \ 種 別	社 名	年 式	馬 力	級 別	ポ ン プ	購 入 年 月	備 考
第1分団1部 (上 桜 井)	ラビット	H19	43	B-3	1段タービン	H19. 3	
第2分団1部 (小野矢指)	〃	H 4	43	〃	〃	H 4. 2	
第2分団2部 (日 棚)	〃	H26	43	〃	〃	H26. 2	
第3分団1部 (石 岡)	〃	H14	43	〃	〃	H15. 2	
第4分団1部 (内野・半蔵)	〃	H21	43	〃	〃	H21. 12	
第4分団2部 (峰岸・西明寺)	〃	H24	43	〃	〃	H25. 1	
第5分団 (大 塚)	トーハツ	H28	30	〃	〃	H28. 12	
第6分団1部 (豊 田)	〃	H 22	43	〃	〃	H22. 12	
第6分団2部 (磯原, 旧磯原)	〃	H 2	43	〃	〃	H 2. 12	
第7分団 (中 妻)	トーハツ	H27	41	〃	〃	H27. 12	
第8分団 (上小津田)	ラビット	H21	43	〃	〃	H21. 3	
第9分団 (山 下)	〃	H 9	43	〃	〃	H 9. 2	
第10分団1部 (花 園)	トーハツ	H30	30	B-2	〃	H31. 3	
第10分団2部 (才 丸)	シバウラ	R3. 8	70	B-2	〃	R 3. 8	
第11分団 (神岡上下)	ラビット	H23	43	〃	〃	H22. 2	
第12分団 (仁 井 田)	〃	H21	43	〃	〃	H21. 12	
第13分団 (大 津)	〃	H23	43	〃	〃	H24. 2	
第14分団 (北 町)	〃	H21	43	〃	〃	H21. 3	
第15分団 (平 潟)	〃	H22	43	〃	〃	H23. 12	
第16分団 (関本中・福田)	トーハツ	H29	30	〃	〃	H29. 11	
第17分団 (関本上・八反)	ラビット	H 9	43	〃	〃	H 9. 2	
第18分団 (富士ヶ丘)	〃	H 6	43	〃	〃	H 6. 11	
第19分団 (小 川)	〃	H21	43	〃	〃	H22. 2	

北茨城市消防本部・署・並びに分団機械配置図

福島県 いわき市

記号	種類
Ⓜ	消防本部
Ⓜ	消防ポンプ自動車
Ⓜ	化学消防ポンプ自動車
Ⓜ	水槽付ポンプ車
Ⓜ	救助工作車
Ⓜ	高規格救急自動車
Ⓜ	防災教室車
Ⓜ	危険物指導車
Ⓜ	先導車
Ⓜ	広報車
Ⓜ	指揮車
Ⓜ	支援車
Ⓜ	北星車
Ⓜ	本部分団車
Ⓜ	指令車
Ⓜ	連絡車
Ⓜ	防災活動車
Ⓜ	小型動力ポンプ積載車
Ⓜ	小型動力ポンプ



協力団体

応援協定

民間防火協力団体

(令和4年4月1日現在)

組織名称	所在地（事務局）	設立年月日	会員数
北茨城市幼少年婦人防火委員会	磯原町磯原2496-1	昭和57年4月1日	1,005
誠之会幼稚園幼年消防クラブ	関南町関本下974	昭和56年7月1日	59
旭幼稚園幼年消防クラブ	大津町北町1-7-3	昭和57年3月1日	85
大津保育園幼年消防クラブ	大津町1353	昭和58年1月10日	156
みなみ保育園幼年消防クラブ	中郷町足洗911-4	昭和58年1月10日	90
いそはら幼稚園幼年消防クラブ	磯原町豊田920	昭和59年4月1日	243
関本保育所幼年消防クラブ	関本町八反184-5	昭和59年4月1日	25
中郷保育園幼年消防クラブ	中郷町日棚1806-2	昭和59年4月1日	50
磯原保育園幼年消防クラブ	磯原町磯原778	平成7年2月23日	134
杉の子幼稚園幼年消防クラブ	磯原町磯原826-4	平成7年2月24日	113
白浜少年消防クラブ	関南町神岡下619-4	昭和55年11月1日	0
関南小学校少年消防クラブ	関南町神岡下172	昭和56年4月25日	50
北茨城市危険物安全協会	磯原町磯原2496-1	昭和34年7月27日	94
北茨城市山林防火普及協会	磯原町磯原2496-1	昭和53年4月1日	249
北茨城市防火管理協議会	磯原町磯原2496-1	昭和54年6月6日	84

消防相互応援協定

消防応援協定名	協定締結先	協定締結年月日	協定内容
北茨城市・埴町消防相互応援協定	福島県埴町	昭和54年9月28日	全災害
北茨城市・高萩市消防相互応援協定	高萩市	昭和60年2月5日	全災害
茨城県広域消防相互応援協定	茨城県下の 全市町村	平成元年4月1日	全災害
北茨城市・いわき市消防相互応援協定	いわき市	平成7年12月1日	全災害
茨城県高速自動車道等における消防相互 応援協定	高速道路等の 沿線市町村	平成12年3月18日	全災害 (高速道路等)
常磐自動車道消防相互応援協定	いわき市	平成12年3月18日	全災害 (高速道路等)